

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

討議年月日:令和 6年 3月 1日

公表:令和 6年 3月 20日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		・隣接した2部屋を使用したり、身体を動かせる遊戯室を使用できるようにしたりしている。 ・一人ひとりがゆっくりと過ごせる活動スペースの確保ができています	・利用定員に対し、基準より余裕を持ったスペースを確保している。支援の内容により日中一時支援や同建物内の児童発達支援センターの活動場所も使用した。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			・利用児の方の姿に合わせて、人数の配置がされている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			・入口には階段を使用しているが、その他は全てバリアフリー化している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		・定期的なPDCAの振り返りがあることで、少しずつ確実に意識していけるようになっている。 ・研修を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・アンケート結果を共有している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	・ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		2	外部評価の実施はなかった。	次年度、同一建物内にある他事業所では事業所間評価制度を行い、3年後、外部評価につなげていく予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		1	・研修の日程が分かりやすく設定されている(職員会議内や土曜開所日の午後など) ・外部、内部の研修がある	・定期的な研修の機会が持てるよう日程調整を行い、外部研修にも参加できるよう勤務調整を行った
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・懇談を行い、保護者ニーズ、子どものニーズ、事業所で出来ることを確認しながら個別支援計画を作成していった	
適	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		2		・太田ステージを実施
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	1	・支援はチームで統一できているが、立案はまだ未熟だと思う ・毎月、会議で活動内容など話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	3		・ほぼ固定化→それが安心につながっているが、工夫は足りていないかもしれない ・毎月、会議で活動内容など話し合っている	・個々の利用児のねらいやニーズに応じた活動プログラムの提供となるよう、工夫できる点を話し合いながら進めていった
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		・毎月、会議で活動内容など話し合っている	・ねらいを明確にし、充実感を味わいながら達成できる支援の提供を行っていった

切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	・集団活動は長期休みは計画しやすいが、平日頃だと組み合わせられていないかもしれない ・個々に合わせ、活動内容を計画している		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	・時間的に開始前の打ち合わせは難しさがある	・月1回の職員会議では全員が集い情報の周知をし、タイムリーに必要な情報は担当者間で都度情報の共有ができるよう努めていった	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	・時間的に終了後の振り返りは難しさがある ・時間が取れない時は遅れて振り返る		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		・連絡帳に日々の姿を記録している	・支援計画に沿った記録を行い、定期的に確認をしていった	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			・ガイドラインの内容を共通理解できるように研修を重ね、ねらいや目標を明確にしていった	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		・管理者が参加している		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		1		・児童→成人への移行期だけではなく、異なる放課後等デイサービスを利用する際にも、適切にご本人さんの姿が次の支援者に引き継げるよう情報提供を行った
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1		・同建物内の児童発達支援センターと合同で定期的に研修を行った
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4		・コロナ禍、インフルエンザ流行などで実施できていない ・コロナも落ち着いているため、地域との交流も少しずつできれば良いと思う	・コロナ禍でも出来ることを模索しながら検討していったが、実施には至らなかった
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1	・管理者が参加している		

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎時や連絡帳を通し、共通理解できるよう努めていった	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・支援内容について説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・自分だけではなく、上司や担当者と共に相談しながら行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		・カフェの開催を行っている	・保護者同士での情報共有の機会となるようことりカフェの場を提供した
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・ブログ等の活用	
	35	個人情報に十分注意しているか	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・毎月避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・人権についての研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		1		・これまで計画に記載する方はいなかったが、身体拘束にあたりそうな事柄の共有を行い、保護者にも説明を行った

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		1		・必要に応じて医師の指示書の共有を行った
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・全て掲示し、共有している	・職員会議内で昨年の同時期に発生しているヒヤリハットの共有を行い、危険を予測・防止を意識できるようにした